

**一般社団法人日本セカンドライフ協会**

**令和5年度 事業報告**

(令和5年4月1日~令和6年3月31日)

# 令和5年度事業報告

令和5年度は下記の基本活動項目を設けて事業報告を申し上げます。

## 1. 活動運営

### (1) 収支改善対策

新型コロナ禍の影響でイベント・サークルの実績が低迷を続けておりますが、新型コロナ禍前に対して粗利ベースで約55%、収益ベースで約67%まで回復してきました。しかし目標の収益ベース 80%には届かず、889万円の赤字決算となりました。

その主な要因は、要員補充による人件費増、課題の集中検討を目的に執行役員会の連続開催による出張旅費増、業務改善のためのシステム改修費増などによるものです。

### (2) 設立 30 周年記念イベント

設立 30 周年を記念し、「芹洋子と地元アマチュア合唱団ジョイントコンサート」を下記3ヶ所で実施しました。

- ・東京:7月31日(月)江東区文化センター
- ・京都:8月19日(土)京都市呉竹文化センター
- ・名古屋:12月2日(土)中電ホール

収支面では赤字となりましたが、30周年記念行事の PR 効果で十分カバー出来たと判断します。

### (3) JASS 大学の確立

「もっと知りたい」「愉快地遊ぶ」「外に出る」の精神を基本とした、従来からの事業運営の枠組みを踏襲して、「人生 100 年時代」における 社会的ニーズに呼応し、シニアの生きがいづくりとともに、社会貢献活動に資することを目的に JASS 大学を令和4年 10 月に開設しました。対象イベント数は徐々に増えていますが、具体的な枠組作りなど本格実施には至りませんでした。

### (4) 活動エリアと運営仲間の輪の拡大

新たに札幌、福岡での運営委員候補者が決まり、回答を待つ状況です。

### (5) 会員の拡大と参加者の増加

当期は(株)木下不動産、(株)ヨコヤマの2社の入会を頂きましたが、東京電力健康保険組合、日本製鉄 OB 会、日立建機(株)の退会があり、企業会員数は 50 社となりました。イベント参加者は新型コロナ禍の影響が継続し、微増となっています。

## 2. 組織運営

### (1) 登録企業会員の状況

令和5年度期初の会員数は50会員でしたが、期中の増減は新規加入2、退会3で令和5年度末の会員数は49会員となりました。

加入：(株)木下不動産、(株)ヨコヤマ

退会：東京電力健康保険組合、日本製鉄 OB 会、日立建機(株)

## (2) 企画者の状況

当期末の運営委員は合計101名で地区別は次のとおりです。

東北地区運営委員	1名
関東地区運英委員	53名
中部地区運営委員	10名
関西地区運営委員	37名
合計	101名

## 3. 事業活動

### (1) イベント・サークル事業

イベント催行数は前期比3%増の1,674件で、イベント参加者数は、前期比2%増の14,935名となりました。サークルについては夏号からイベントに移行したため7件、86名の参加者となりました。

### (2) 機関誌事業

年4回発行の機関誌「JASS ネット」の発行部数は31,200部で、前期比4%の減少となりました。紙代、送料の高騰を吸収するため、秋号から販売価格を160円から200円(何れも内税)へ、送料を130円から180円(何れも内税)に値上げをしました。

### (3) ホームページの改変

当協会のホームページは非常に多くの方から利用されるようになり、ホームページからのイベント・サークル申込も定着しつつあります。更に利便性の向上を目的に、6年度上期の運用開始を目途に新たなHPの製作を進めています。

## 4. 理事会、総会の開催

令和5年5月31日に令和5年度第1回通常理事会を、令和5年6月16日に通常総会を開催し、令和4年度事業報告、令和4年度収支決算報告、令和5年度事業計画、令和5年度予算、公益目的支出計画実施報告書、役員選任を審議し、いずれも承認されました。第1回理事会では代表理事及び業務執行理事として理事長及び専務理事から令和4年12月から令和5年5月までの職務執行状況の報告があり、特に問題なく了承されました。

令和5年12月18日には令和5年度第2回通常理事会を開催し、代表理事及び業務執行理事として理事長及び専務理事から令和5年6月から令和5年12月までの職務執行状況の報告があり、特に問題なく了承されました。

以上